

## 北秋川 やすらぎの里下流ボルダー

令和元年6月8日 RCT/K

遙か昔になるが、秋川小学校の先から対岸に見える、仮称「ピクニックロック」を開拓し、その後、その傍の川原にあるボルダーをトライしたことがあった。その時にトライしたボルダーは「やすらぎの里ボルダー」として既に簡単に紹介したが、今回はそれより下流側にある幾つかのボルダー(J K L M N)を紹介するが、はっきり言って絶対にお勧めしないボルダーなので、一応こんなボルダーがあるという情報を提供するだけの意味あいで紹介することとしたい。

この冬は、障子岩の整備を中心に行っていたが、その帰り道で、脆すぎるという理由で、以前トライしなかったボルダーがあったことに気がつき、ちょっと確認のために寄ってみた。

久しぶりに訪れてみると、非常に脆いという感じは拭えず、トライすべきか否か考えてしまう状況であった。しかし、何とかなるという気持ちもあり、取り敢えず上から下降し、浮石を落としてみようということで、2月の下旬ごろに再度訪れた。

始めてみると、予想以上に脆く、ボルダーとしてトライするには危険とも思われたが、簡単に一通り大きな浮石を落としたところで最初はトップロープでトライを始めた。しかし、トライ中にホールドが取れたり、時には、ロープ無しでのトライで、ガバに体重をかけた瞬間に大きな岩が剥がれて一緒に2m程落下することもあった。幸い大きな怪我には至らなかったが、さらにチェックして落ちそうな浮石を落とした。

3月に入り、暫く天候不順となったためか慢性腰痛が悪化して暫く行けなかったが、中旬に再度トライに出かけた。常に緊張感のあるトライで、思い切ったムーヴはできなかったが、想定したラインはほぼ登ることができた。

ボルダーの場所、アプローチ等は地図の通りである。



### 《課題紹介》

#### ●J岩

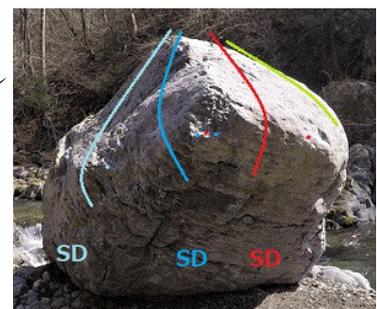
今回紹介した中で唯一しっかりしたボルダー。

河原の中央にあり、雨が降って増水すると、取り付きが川になってしまう。

小さな岩だが、SDでトライすると、ボルダーらしくて意外と面白い。

最初はホールドが滑って全く止まらなかったが、トライするうちに持てるようになってきた。

赤ラインが、ムーヴ的には面白くお勧め。

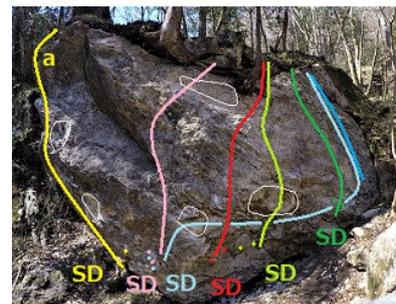
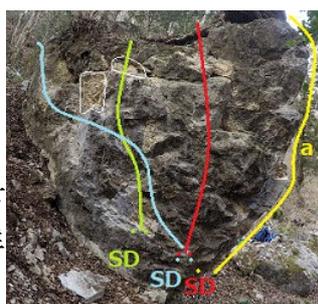


#### ●K岩

左:下流側 右:上流側

遊歩道下にある、高さ4m程のハイボール。

全体的に浮石が多く、最初はトップロープトライだったが、非常に神経を使った。下流側の黄緑ラインの上部白枠が、大きな浮石を掴んで2m程落下した時に剥がれた部分である。上流側の黄色aラインとピンク



ラインの白杵はトップロープだったため、落ちたが怪我には至らずに済んだ部分である。

まだまだあちこち浮石があり、特に黄色 a のラインは見栄えが良いが、浮石には十分注意が必要。

上流側の赤と黄緑ライン辺りが、まずまずしっかりしているが、特にお勧めはしない。

### ●L岩

遊歩道の上にある小さなボルダー。

全体的に表面が浮石だらけだった。何とか登れる状態になったがお勧めはしない。

下地が少し傾斜しているので、落ちた時は注意が必要。

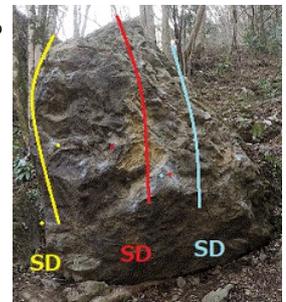
課題は、腰を下ろした状態で足を上げ、引きつけてデッド。



### ●M岩

遊歩道の上にある小さなボルダー。部分的に浮石があっただが、比較的しっかりした岩である。

赤ラインがムーヴ的には面白い。



### ●N岩

左:東面 右:北面

遊歩道の上にある 8m 程のハイボールだが、3m 位から上は非常に脆い。トライ中に何度も欠けるのでチェックしたら、浮石のオンパレードだった。

東面の黄緑ラインと黄色ラインは木の細い根っ子にタッチして終了し飛び降りる。それ以上登ると浮石だらけで危険である。

北面の赤ラインは、ハングした岩にタッチして終了し、右の土手に飛び降りる。

ムーヴ的には、東面の黄色ラインと北面の赤ラインが面白いが、浮石が多いためお勧めはしない。

